

なくそう核兵器

原水爆禁止

NO WAR NO NUKES

核兵器なくそう!

2023年6月11日 (No.11)

あいち 平和行進

2023 5/31-6/11

発行：あいち平和行進共同連絡会
連絡先：愛知県原水協 TEL:052-932-3219 FAX:052-931-2651
mail: gensuiky@lime.ocn.ne.jp

最新情報はWebで
あいち平和行進 検索 peacemarch.peace-aichi.net

ツイッター
twitter.com/aichi_p_march

6月10日 土 まとめ

①小牧市役所→小牧基地→美濃町学
供施設→勝川駅 →春日井市役所

②豊山町役場 (表敬訪問)

③高蔵寺弾薬庫 (申し入れ) ④春日井駐屯地 (申し入れ)

◆参加者 のべ248人 ◆ペナント 124本
◆折り鶴 27,120羽 ◆募金 65,206円
◆自治体からのペナント 27本 (本日までの累計)
◆自治体からの協賛金 64,000円 (本日までの累計)

基地のまちを行進 核兵器なくせ戦争やめよ大軍拡、大増税ストップの風ふかす



●小牧市役所

小牧 ◆参加者 のべ66人 ◆折鶴 21,720羽
◆募金 23,577円 ◆ペナント 33本

司会はコープあいち平和やまぼうしの会の三木さん。
まず、新婦人小牧支部平和部長の桜井さんが地元挨拶。「実行委員会を3回、久しぶりに歩く行進なので、うまくいくか心配」と話しながらも「平和の思いを、次世代につなぐ行進に」。
小牧市の笹原さん、議会議務局の高木さんは、「核兵器廃絶、平和を望む気持ちは同じ」と挨拶。
ペナント32本、折鶴21,720羽が、全国通し行進者の村上さん、わかやま市民生協の森さんに手渡されました。きれいに繋がれた折鶴は壮観でした。
村上さんは「被爆二世としての第3の人生のスタートとして行進している。出会いの積み重ねで、楽しく歩いています」と挨拶。
閉会挨拶は共同連絡会を代表して、平和委員会の田中さん。1958年平和行進を一人で歩きはじめた西本さんが、愛知県に到着したとき2,000人になったことを紹介し、「核兵器禁止条約」によって、大きな変化が起きていると訴えました。
その後、自衛隊小牧基地に向けて行進はスタートしました。



●小牧基地前での集会

尾中地区労連の望月さんが「人権を尊重するのが憲法なのに、権力持者が有利な状態に見えてくる。最もひどい人権侵害は核兵器」と挨拶。
行進を出迎えてくれたすずかけ共同作業所のなかまたち。職員の真鍋さんは福祉保育労の組合員でもあります。
「ロシア」とか「核兵器」という言葉が、なかまたちの耳にも入ってしまう今、平和の学習会を行なって「9条は大事。核兵器なくそう」と伝えてきたと真鍋さん。なかまたちも学んだ思いを話しました。
その後、小牧基地への申し入れ書を読み上げて確認し、代表団が申し入れに行きました。



●小牧基地へ申し入れ

午前11時、行進団とわかれた基地への申し入れ代表6人が、小牧基地正門ゲート前で核兵器廃絶、小牧基地機能強化反対、小牧基地撤去に関する申し入れを行いました。申し入れに対し当直幹部高橋三佐は、実質二言でした。「コメントは差し控えさせていただきます」と申し入れは上に、伝えます」です。

代表団側からは、「基地の存在自体が周辺住民の安全な生活を脅かしている」「万が一の事態に周辺住民をどう守るかの教育はあるのか」等投げかけました。あわせて「雨が来たら、外で対応していると紙が濡れます。基地の中での対応が当然ではないですか」と付け加えてきました。



●勝川駅で合流集会

勇壮な和太鼓の演奏で開会。高蔵寺弾薬庫、西山駐屯地、小牧基地への申し入れの様子をそれぞれ報告。

通し行進者のみなさんを紹介し、春日井市役所に向けて出発。

元気にピースコール、うたごえを響かせて行進していると、沿道の子もたちも手を振ってくれます。途中、地元在住の被爆者、水野秋恵さんも行進に加わり、市役所まで歩きました。

●春日井市役所

春日井

◆参加者 のべ114人 ◆折鶴 5,400羽
◆募金 36,629円 ◆ペナント 90本

予定より少し早めに到着した春日井市役所。「コーラス春」のうたごえでオープニング。司会は春日井ピースフェスタの菅さん。

春日井市総務部長の岩井さんが市長メッセージを代読。半世紀を超える活動に敬意。平和行政を紹介し、「世界平和につながるように」。議会事務局長おきなかさん「平和行進が、多くの人が核兵器のない世界を考えるきっかけとなるように」。日本共産党市議の原田さんは小牧から行進、「コロナで歩けなかったが、核兵器禁止条約発効は大きな出来事。政治を変えなければ。地方からも声をあげていこう」。原田議員と石田議員は勝川からの行進と集会に参加、市民クラブの小嶋小百合議員は勝川から春日井市役所までの行進に参加しました。わかやま市民生協の森さんは豊山町役場の表敬訪問の時にもらった、折鶴が飾られた帽子をかぶって「最後までやりきりたい」。

全国通し行進者の村上さんは「毎日、地域の人がたくさんいて、ピースコールやうたごえを響かせて、着いたら歌で出迎えてもらい、明日への元気がわきました」。県内通し行進者の奥田さんは「明日で終わるのが少し寂しい感じ」そして先頭で掲げた原爆の火の絵を紹介しました。あいち平和行進共同連絡会の田中さん（平和委員会）は「コロナのパンデミックを乗り越えなければならない時に、ロシアの戦争。G7は本質は大失敗だが、マスコミはそう報道しない。平和行進が大きな力を発揮している」。新婦人のペナント80本をはじめ、たくさんのペナント、折鶴が行進団に手渡されました。尾中労連議長の望月さんが閉会挨拶をして終結集会を終えました。



●豊山町

豊山

◆参加者 のべ10人
◆募金 5,000円 ◆ペナント 1本

総務課長から挨拶。「平成17年に市長会に加入。今年も例年のように原爆パネル展を計画」。ペナントと協賛金をいただきました。お礼をわかやま市民生協の森さんから。



●高蔵寺弾薬庫

高蔵寺弾薬庫

◆参加者 のべ42人

事前集会は42人が参加し、青い空、原爆許すまじを合唱し、基地前には平和の音が響きます。長崎から移り住んできた田邊さんは、愛知の平和教育の貧しさについて批判。市議会議員の石田さんは、安保三文書で長射程ミサイルが保管されれば、この街が標的となると告発。

二村さんが申し入れ文書を基地に手渡しました。



●春日井駐屯地

春日井駐屯地

◆参加者 のべ16人

春日井駐屯地申し入れには、16人が参加。年金者組合の友石さんは、58年を、重ねる平和行進の意義を語りました。その後、「大軍拡大増税を止めるよ政府に求めること」「敵基地攻撃能力に基づく、共同訓練や海外派兵をしないこと」などを求める申し入れ文書を手渡しました。



6/11のコース

8:30 (集会) 10:30 12:10 (引継集会)
扶桑町役場→石作公園→各務原市民プール第2駐車場